

議事概要

■議題（１）事業者における事業の進捗状況について

事務局から事業者における事業の進捗状況について説明を行った。主な内容は以下のとおり。

- 県道６号線の改良要望については、３月２３日に岩城前副知事から四国鉱産㈱に対して、さまざまな案を検討した結果、事業費や事業年数を踏まえ公共事業としては難しい旨の回答をしている。ただし、相談余地を残した形となっており、回答を受けて四国鉱産㈱としては採掘事業を進める方針は変わらず、引き続き県に相談や提案をしていくと報告があったので情報共有する。今後も状況の聞き取りを行い、適宜報告する。

■議題（２）各課における協議等状況報告

事務局及び委員から採掘計画に係る課題に関する各課での協議等の状況について説明を行った。主な質疑等は以下のとおり。

- 農業用水の水質が課題となっているが、水量は課題ではないか。
⇒川さえ流れていれば基本的に水量は問題ないと考える。水量が減少した場合は、事業者に対して措置を求めていく。

■議題（３）事業者による環境調査の内容及び範囲について

事務局及び委員から事業者による環境調査の内容及び範囲について資料に沿って説明を行った。主な質疑等は以下のとおり。

- アセスを実施しても採掘した結果の全てを想定できるものではないので、住民説明会で出た住民の心配に対応してもらうことが重要と考える。
- 事業者が実施を予定している環境調査以外に、何か必要と考えられる調査があれば市として事業者伝えていくのか。
⇒会議で出た意見等をとりまとめ、必要な手続きを経て事業者に要望や提案等を行うことになる。法令上フルアセスが求められる事業ではないということに配慮しながら住民に説明できる仕掛けをつくる必要がある。正式に要請する前に、事業者とすり合わせることが必要だと思うので、事前の質疑や協議は積極的にやっていただきたい。
- トラック通行による粉塵も環境調査の対象になると考える。四国鉱産㈱と協議しながら次回調整会議で諮っていきたい。

○説明会は全地区に対して実施するのか。

⇒現時点で半分の地区で説明会を実施しているが、事業者も1回の説明会で終わりとは考えていない。住民に対して十分な説明をした上で合意形成を図り、最終的に事業を実施するものだと考えている。

○事業スケジュールを教えてください。

⇒計画では2025年事業開始予定だが、あくまで目標値。道路に関する課題の状況やプラント建設場所が未定である現状を踏まえると、商工観光部としては2025年の事業開始は厳しいという認識である。

○学校関係への説明は車両の通行に関する内容が大部分になると想定されるが、県道改良の状況が不確定な現状では具体的な議論にならないため、説明を延期する可能性もあると考える。

■議題（4）次回高知市鏡鉦山採掘計画調整会議の進め方について

第3回の議題については、事業者から情報収集した運搬ルートに関する内容についての報告と、事業者による環境調査の内容及び範囲について協議を進める予定とした。